

令和 5（2023）年度 資源評価調査報告書（新規拡大種）

種名	サワラ	対象水域	太平洋中・南部
担当機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 浮魚資源部、千葉県水産総合研究センター、東京都島しょ農林水産総合センター、神奈川県水産技術センター、静岡県水産・海洋技術研究所、愛知県水産試験場、三重県水産研究所、高知県水産試験場、宮崎県水産試験場	協力機関名	

1. 調査の概要

漁業・養殖業生産統計年報にはサワラ類として集計されている（図1）。千葉県（1995～2022年）、東京都（1949～2022年）、神奈川県（2015～2022年）、静岡県（2001～2021年）、愛知県（2001～2022年）、三重県（2003～2022年）、高知県（2010～2022年）、宮崎県（2006～2022年）でサワラまたはサワラ類の漁獲量が集計されている（図2、表1）。東京都の漁獲量はサワラ類であり、水揚げの中心はカマスサワラである。静岡県の漁獲量はサワラ類であり、魚種組成は不明である。三重県では、漁獲量および和具浦地区の一本釣りのCPUEにより、資源水準と動向が評価されている。2019年より卵稚仔調査により卵の分布状況が調べられている（図3）。

2. 漁業の概要

サワラ類は太平洋中区での漁獲が近年多くなっている。漁獲量は1990年代後半から増加傾向であったが、2019年をピークに減少傾向に転じている。主体となる漁法は海域によって異なる。千葉県での漁法は主に定置網、まき網、曳縄などである。愛知県では、主に小型底びき網、刺網で漁獲されている。三重県では、鳥羽市で概ね県全体の8割が漁獲されていて、一本釣り（主に曳縄釣り）と流し刺網による漁獲がほぼ全てを占める。高知県では主に大型定置網で漁獲されている。

3. 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：北海道南部以南の日本各地に分布している（中坊・土居内 2013）。日本海・東シナ海系群、瀬戸内海系群、太平洋北部との関係は不明である（笹木ほか 2021）。
- (2) 年齢・成長：東シナ海では、寿命は6歳程度とされている（濱崎 1993）。瀬戸内海では、寿命は6～8歳で雌が長寿とされている（岸田ほか 1985）。1980年代に主に東シナ海中央部および韓国沿岸域で漁獲されたサンプルを用いて解析した報告では、成長には雌雄差があり、2歳以上において雌は雄に比べ成長が速い（濱崎 1993）。
- (3) 成熟・産卵：瀬戸内海では満1歳で約半数が成熟し、満2歳でほぼすべての個体が

成熟する（竹森 2006）。日本海・東シナ海系群では雌雄ともに1歳魚の一部が成熟を開始し、2歳魚以上では大部分が成熟する（平岡ほか 2023）。三重県では満1歳で雌雄ともに成熟することが確認され、成熟魚は4～7月に出現している（笹木ほか 2018）。2019年以降、卵は伊勢・三河湾周辺で多く観察されている（図3）。

- (4) 被捕食関係：生活史を通じて魚食性が非常に強い（Shoji et al. 1997）。発育初期にはカタクチイワシ等の稚魚を捕食し（Shoji et al. 1997）、成長するとカタクチイワシ、イカナゴ等魚類を主食とする。

4. 資源状態

太平洋中区でのサワラ類の漁獲量は2020年から減少傾向である。三重県では、2021年の鳥羽磯部漁協における漁獲量から資源水準は「高位」であり、資源動向は和具浦地区の一本釣りのCPUE（2017～2021年）の推移から「増加」と判断している（<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001099714.pdf> last accessed 15 February 2024）。なお、一本釣りの大型魚や流し刺網の資源動向は減少しており、今後の動向には注意が必要である。生息域を網羅した長期間の漁獲量情報がないことから、太平洋中・南部全体の資源水準や動向の推測は現状では困難である。

5. その他

重要な浮魚類として継続的なモニタリングが必要である。

6. 引用文献

- 濱崎清一 (1993) 東シナ海・黄海に分布するサワラの年齢と成長. 西海区水研報, **71**, 101-110.
- 平岡優子・黒田啓行・田邊智唯 (2023) 令和4(2022)年度サワラ日本海・東シナ海系群の資源評価. 我が国周辺水域の漁業資源評価, 水産庁・水産研究・教育機構, 1-20.
- 岸田 達・上田和夫・高尾亀次 (1985) 瀬戸内海中西部におけるサワラの年齢と成長. 日水誌, **51**, 529-537.
- 中坊徹次・土居内龍 (2013) サバ科. 中坊徹次(編), pp.1648-1654. 日本産魚類検索全種の同定 第三版, 東海大学出版会, 秦野.
- 笹木大地・岡田 誠・金岩 稔 (2021) 2019年度三重県におけるサワラの資源評価. 三重水研報, **27**, 4-11
- 笹木大地・岡田 誠・津本欣吾 (2018) 三重県におけるサワラの年齢と成長. 黒潮の資源海洋研究, **19**, 55-58.
- Shoji, J., T. Kishida and M. Tanaka (1997) Piscivorous habits of Spanish Mackerel larvae in the Seto Inland Sea. Fish. Sci., **63**, 388-392.
- 竹森弘征 (2006) 瀬戸内海東部海域で漁獲されたサワラの成長と成熟. 香川水試研報, **7**, 1-11.

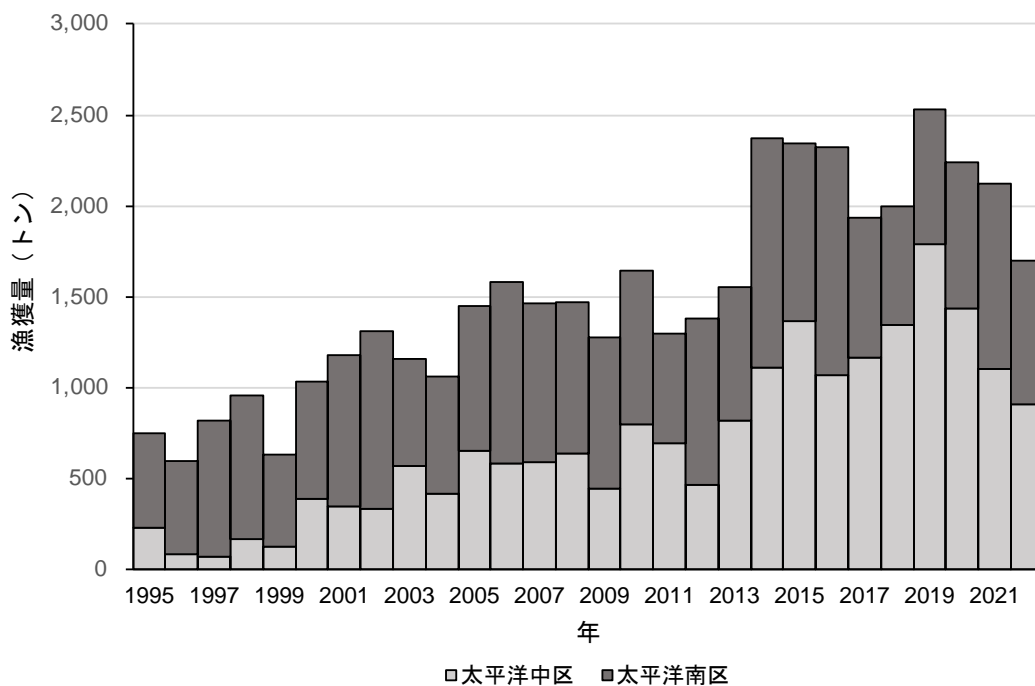


図1. 太平洋中区・南区におけるサワラ類漁獲量 (トン)

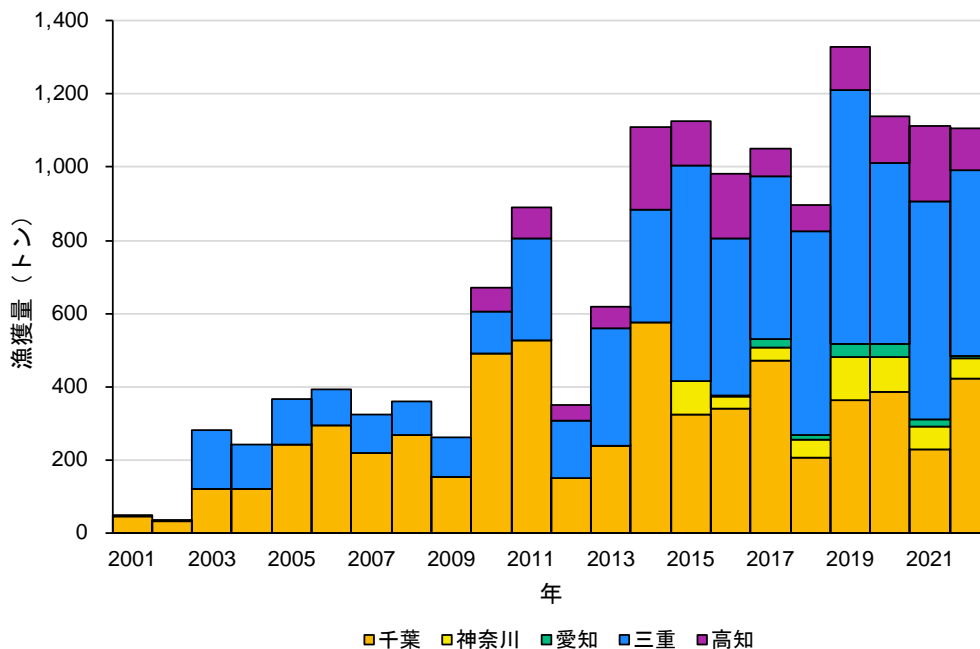


図2. 千葉県 (2001~2022年)、神奈川県 (2015~2022年)、愛知県 (2001~2022年)、三重県 (2003~2022年)、高知県 (2010~2022年) の主要港におけるサワラ漁獲量 (トン)

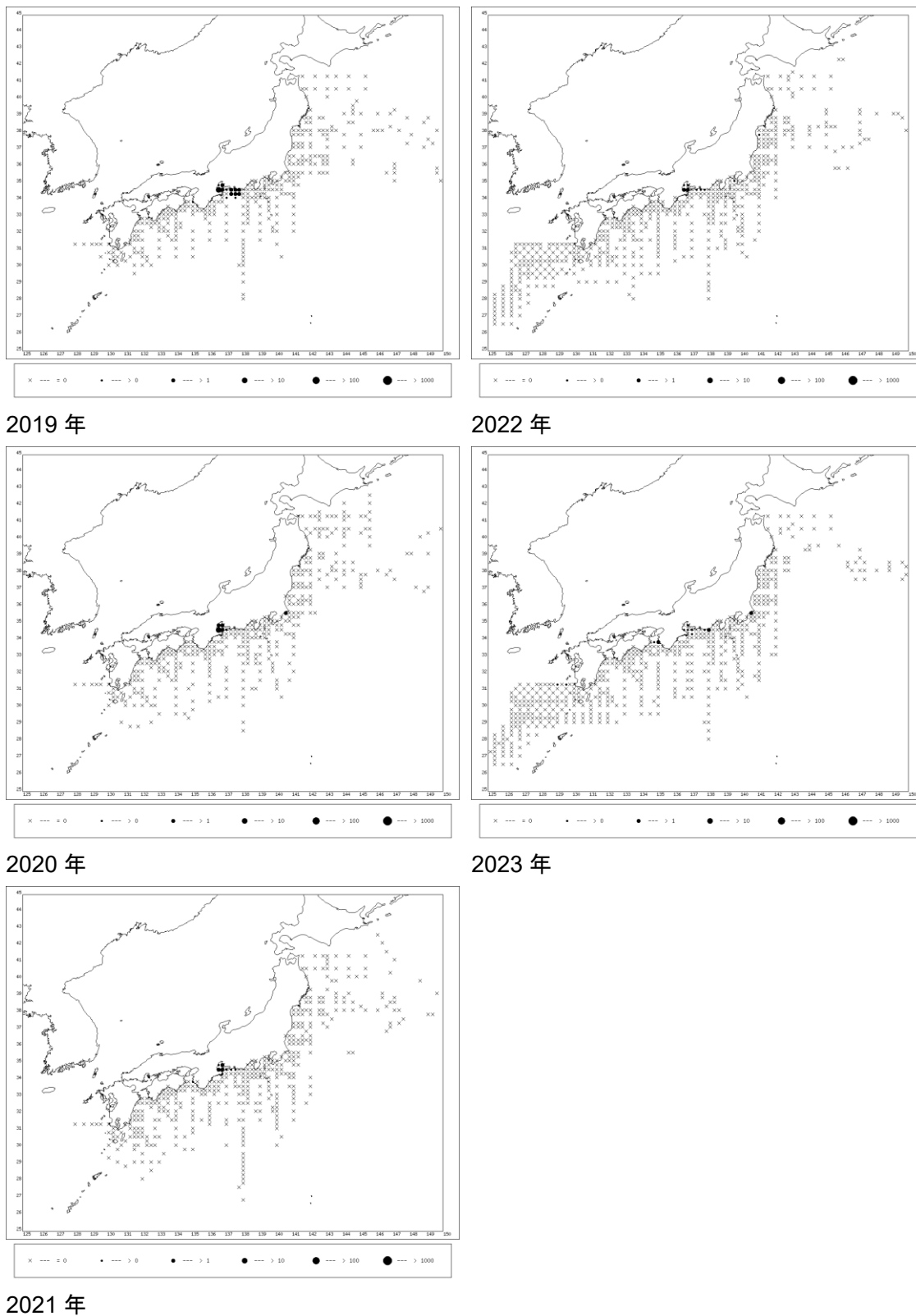


図3. 2019～2023年の太平洋岸におけるサワラ卵の年別分布状況（個体数/m²）

表 1. 各県の漁獲量（トン）の年変化

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
千葉県	47	34	121	122	242	296	221	270	154	493	528
神奈川県											
愛知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三重県			161	121	124	99	105	90	111	113	278
高知県										66	85
合計	47	34	282	243	366	394	326	361	264	672	891

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
千葉県	151	240	577	324	340	472	206	365	387	229	248
神奈川県				91	36	35	51	117	93	63	54
愛知県	0	1	1	0	3	25	13	35	36	21	7
三重県	159	320	307	591	428	444	554	693	494	595	505
高知県	42	57	225	120	174	76	73	120	128	204	114
合計	352	618	1,110	1,126	980	1,052	897	1,329	1,138	1,111	928